

ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証取得について

区では、情報セキュリティ体制の一層の強化を図るため、全庁的にISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）体制を構築し、平成28年9月1日から運用を開始した。
平成29年6月に認証機関の審査を受け、ISMSの認証を取得したので報告する。

1 ISMS認証取得の目的

中野区が真に豊かで持続可能な地域社会をつくりあげていくためには、区民の個人情報や行政運営上重要な情報資産を様々な脅威から守り、区民の財産やプライバシー等の保護及び事務の安定的な運営を確保することが重要であることから、情報セキュリティ対策について基本方針を定め、これに基づきISMS体制を構築・運用し、積極的に取り組むこととする。

2 ISMS認証取得の概要

ISMSとは、情報セキュリティのためのマネジメントシステムのことで、組織における情報セキュリティを管理するための包括的な取組み。

(1) 認証基準

ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014

(2) 適用範囲

中野区役所庁舎内45部署、庁舎外65部署 計110部署（職員2,486名）

(3) 初回登録日

平成29年7月7日

(4) 認証登録機関

一般財団法人 日本品質保証機構（JQA）

3 ISMS認証取得までの主な取組み

平成28年	5月24日	ISMSキックオフミーティング
	9月1日	ISMS運用開始
	10月21日～11月9日	内部監査（職員の監査チームによる監査）
	11月17日	内部監査委員会（監査結果の評価）
	12月16日	マネジメントレビュー（区長への報告）
	12月21、22日	認証審査（第1次審査）
平成29年	1月～	情報セキュリティ強化に向けた取組み （緊急一斉点検、職員研修等の実施）
	6月16日～22日	認証審査（第2次審査）
	7月7日	認証取得

4 今後の取組み

毎年、情報セキュリティに関する職員研修を計画的に実施するとともに、職員が主体となって内部監査を実施し、PDCAサイクルにより情報セキュリティレベルの継続的改善を図る。また、認証機関の定期審査を毎年受け、3年に1度更新審査を受ける。